

展。板村さんの画歴はまだ1年そこそこだが、昨年12月に個展を早くも計画、3か月の間に12点の作品を描き上げてしまったという。幻想味あふれた作品が多く、とても中学生とは思えぬ見事な出来ばえで町の人氣をさらってしまった。若々しい目でとらえた自然の美しさを、『森の話』というファンタジックなタッチで描写した新鮮さが、殺パツな都会のなかに新風を吹きこんだといえよう。伊藤誠氏(美術評論家)なども、板村さんの才能を高く評価し、今後の成長が楽しみだといっている。

花時計



人間不在の行政

医療扶助を受けられず前途を悲観し自殺した人がある。まだ生後1年にもならない幼児と奥さんを残して、電車で飛びこんだのだが、その記事を新聞で読んだとき、なん

おむすび屋さん評判記

暴力団からきれいなサッパリ足を洗った人が、三宮で屋台店を出している。奄美大島出身のWさん(三三)で場所は丸からトアロードを上がり、柳筋へかかる一つ手前の角。三年前、更生を決意して親分に告げたところ、あっさり賛成してくれた。以後、最愛の奥さんがにぎったおむすび、煮こんだおでんを葦合区の自宅から車につんで毎晩こへ。

付近の人たちの好意で、もらい水も自由だし電灯線も一本ひけた。店をしま

終えると、チリ一つ残さず掃いていくWさんの評判はすこぶるいい。

『昔の仲間もたまにのぞいて、元氣か』がなればよと励ましてくれます。みんな正業につきたいんです。私も早く小さくとも店を持ってみなさんの厚意に報いたいですよ』

店の名はまだない。ひいきの客がノレンを贈ると申し出たとき、『女房が喜びます。私を立ち直らせてくれたのは、みんな女房のお蔭です』といったところから、奥さんの名前をとって『由利』にしようとの話もあるとか……。

ともいえない暗い気持ちになった。なにも死ぬことはないではないかといったところで、なにも始まらないが、人間辛抱が大事とつくづく思ったことである。

それにしても、いったい日本の社会保障とはなんだろうかと疑問に思わぬわけにはいかなかったこともたしかである。その自殺者の場合も、医療扶助を受けるに必要な書類を、病院側が整えてくれず、思い余って死を選んだものと考えられる

手続きが面倒なら面倒でもいいから、当局の人々は人間的な親切と思いやりを尽さなくてはならないはずだ。私も大衆には、複雑な事務手続きの詳細な点は、なんにも分っていないからである。これはたんに医療扶助の問題だけに限られることではない。あらゆる行政面において官僚的になることが、いちばん危険だ。人間不在の行政が、人を死にまで追いこむ危険を当局は知るべきだ。

(M)

◆神戸百店会だより◆

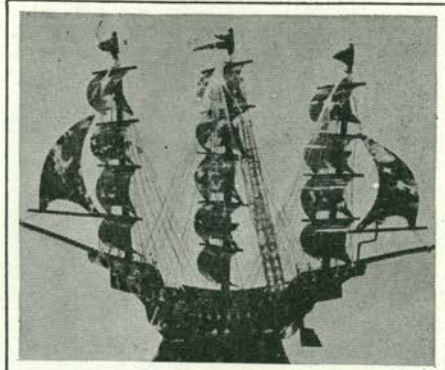
- ☆ 紳士洋品のフナキヤにもレディーズコーナーがあります。元町三丁目のフナキヤでは男子洋品を数多くそろえていますが、目をちょっと奥にやると可愛いデイズコーナーがあります。あまりお気付になる男性が少ないようですが、センスあふれた可愛い品が皆様の目を惹きつけることと思います。はみずかしがらに彼女へのプレゼントもおそろえになれます。またゴルフやマリッジングの賞品にもどうぞ。
- ☆ 「ニートウキョウ」でビルを」と皆様に親しまれてきた生田柳筋のニートウキョウが5月1日待望のニューホーをオープンいたします。緑の風に吹かれながらほらにがい。ホップの味をお楽しみください。
- ☆ 軽やかな春の一日皆さまがたをバンジーの吹き流れるパリーにご案内いたします。元町のサノへでは4月27日よりエンタル・ホテルにおいで皆さまおなじみのクリスチャンデイオールの製品をパリのモデル嬢たちによって数々発表することになりました。奥さま、お嬢さま、神戸の春と共にパリの春の香に酔ってみませんか。
- ☆ おしゃれなダンディに耳よりなお話、あなたの大切な持物をすべて私がお願いいたします。私？4月号40ページでお目にかかったボンダバグです。元町一丁目の上大上靴店では今流行のボンダバグを赤・黒・アイボリー・紺・茶とあなたにピッタリの色をとりそろえています。お値段は小三千五百円・中四千三百円・大五千五百円。
- ☆ 桶公前の菊水総本店が一つ南通りに地下一階、地上四階のビルを完成しました。和菓子製造の近代化の総合ビルで皆さまとお話できる小部屋もあります。一度お立ち寄りください。
- ☆ 紳士洋服のシマキが東門筋の店より中山手通一丁目フラインドリー・ブ筋向いの佐々木ビル2・3階に移転しました。エキゾチックな教会の見える静かな店内です。散歩の途中にでもお寄りください。
- ☆ 元町一丁目、ネクタイの「元町バザール」では、4月27日・16日まで元町バザールの2階で、秋冬もの、ペロ(ベルリン)のネクタイ、ラコ(ハンブルグ)のネクタイとマフラーの展示会を開きます。ひと足先に冬のオシャレプランを楽しんでください。



高級紳士服専門店

神戸テーラー

生田区北長狭通2(省線高架通50) ㊟2817



センスあふれる

太田 鼈甲店

べっ甲専門店

元町1丁目 TEL ㊟6195



毛皮の店

ウエダ

元町2丁目 ㊟0686



春風が世界の
品々をサノヘに
運んできました



元町2丁目
㊟4707~8

よろず物櫛衣縫上處



神戸シャツ

神戸大丸前 TEL (33) 2168



創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町

ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416

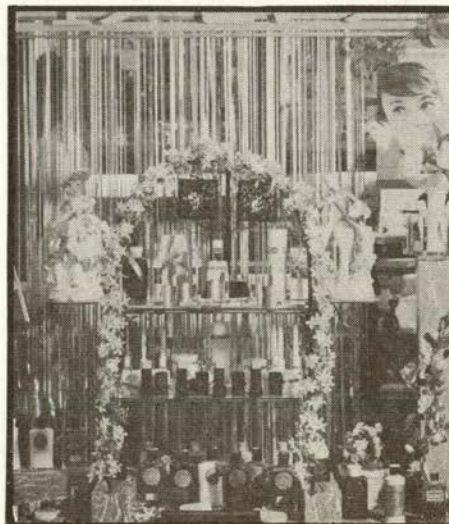


コスチュームアクセサリーの店 神戸店 / トアロード ☎ 8643 2293

芸 げい も 夢

大阪店 / 心斎橋ロビー (211) 5153 1044

心斎橋名店街(小大丸ビル) 211 8503



絹屋

化粧品店

西店・三宮柳筋 ☎ 5778
東店・甲南本通 ☎ 0250



MEN'S SHOP
セシユウ

千
秘
蔵

TEL 34 6959
神戸元町4丁目

Arnold Palmer
GOLF WEAR



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL 34 7290



新古美術

播 新

神戸元町3丁目・332516



男子洋品の店

コ
ウ
ベ
ー

元町通2
TEL
33 2589



ご贈答に風味豊かなカステラ

長崎堂本店

本店・大橋0553 元町店04130 神戸新聞秀品店阪急

The
Cosmopolitan
Valentine F. Morozoff

コスモポリタン チョコレート・キャンデー

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目	電話352-2436
新宿ステーションビル地下2階		電話 7-2534
千葉駅ビル店	千葉市新町千葉駅ビル名店街	

神戸名産

餅煎瓦

神戸三宮トア・ロード

本店 ③1番 2番 3番

南店 ③1 6 1 6 番

おくりもの、おみやげに



クリーム
ベリタス

ロールラッキー

地方送り承ります



趣味の店
元町通4

KOTAN
古潭



おすし
てんぷら

榮 彌

三宮町二・朝日会館前
TEL 33 五七七二
(第一第三日曜お休み)



天 皇 御 趣
生 々 ば

元町二 33 二二三六



オランダ風ビフテキの店

元町グリル

元町2丁目元映山側入る
TEL 33 6 4 5 1

洋酒の店
キャンテイ
Chianti*

榑 晴 夫
TEL (39) 3 0 6 0

213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE

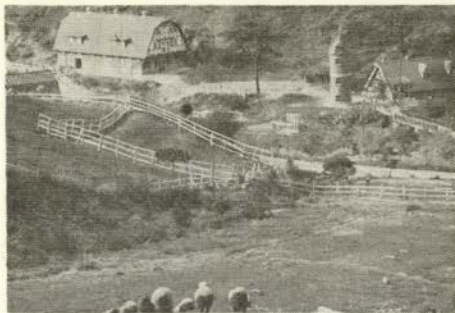


神戸を楽しむ 私のコース⑨

藤田 重夫
建築家

私が山に登りだしたのは山の美しさにひかれたからだ。人工の入りこまない原始の中に純粋な自然が静かに息づいていた。そして、山の写真を撮ることが私の山行の目的であった。

私の山行は普通にいわれる登山とは形式、内容ともに違っている。ことにこのごろのスポーツ的な登山とはかなり距離があり、私が山に登るのではなく、カメラが山に登るといった方がよい。山が美しいというのは私自身の目、心につける姿よりもカメラの対象として美しいということであって、私がみていた山は、だからピントグラスの上に写った山の姿であった。しかし最近ではこのような山



春のたわむれる春の六甲牧場

行はむしろかくく、人工の入りこんだ美しさも悪くないと思いはじめた。その点六甲山はちねの海を眼下に、自然と人工とがとけあって美しいと思う。登山コースも山頂をドライブするマイカー族、徒歩で登るハイカーたち、岩場や岩山で訓練を重ねて岩登りをマスターし技術経験を応用して、いよいよ高山の登攀へ踏み出す人々のよりよき訓練の場所でもある。周囲の景色を眺めながら散歩する、彼と彼女のデートの場としてもよき思い出となり、恋人たちにとっては楽しい最適の場所である。

すばらしい広い自然と美しい空気を胸いっぱいにして、芝生に腰をおろして語る楽しさは格別だ。ドライブウエーをさけてハイキングコースにはいると木の葉からもれる斜陽を遊びながら枯葉を踏み感触が楽しく、静かな風の音、小鳥の歌に耳をすましながら自然にとけこめるのも六甲山ならではの楽しさであろう。

山頂は憩いの場として愛好している。春は白いアセビの花、四月下旬には桜の花が開く。初夏はクスの新緑、やまツツジが咲き乱れ、全山が衣替をする。

夏は西六甲から摩耶山にかけてアジサイの花が開き初める。残暑はまだ厳しいが、八月末に早や秋の気配がしのびより、ススキの波がたつ。夜は星が冴え街のあかり

は実にすばらしい。山はハゼの燃えるような色だ。カエデの多い北の秋も美しい。有馬温泉瑞宝寺の紅葉はとくに見事である。

紅葉谷のにじきは十二月ごろまで美しい。冬は南面の松が緑をそえるし、ときには白一色の雪の原となりスキーヤーを楽しませる。

このように四季通じて美しい六甲山には、カメラの対象としても写材が多い。また西には摩耶山、六甲牧場があり、こでしほりたての牛乳を飲みながら西北に広がる山波を眺めるのもよいだろう。ここから摩耶山に出てロープウエーで降るのもよし、天上寺に廻って原始林から見える街の景色をたんのうすることもできる。天狗道を廻って市が原にいたるハイキングコースも健脚向きとしてよい。そこから再度山公園に出て修法ヶ原の赤松の林、池の美しさ、植物園の散歩等を楽しみながら行く山登りは、いく度くり返してもつきぬ楽しみが湧いてくるものである。



六甲山保護岩のロッククライミング

神戸夫人

武田 繁太郎
え・青木 一夫

「ママ! どうも変だ変だと思っていたんだが、やっぱり変なんだよ。やっぱり——」

出勤まえの寸秒もおしい朝のひとつとき、ご不浄でぐずぐずしていた良人が、いやにしょんぼりと、そのくせ、深刻そのものの面持ちで、キチンルームに戻ってきた。いつもは血色のいい顔も、なんだか蒼ざめている。

だが、いそがしくトーストをつくったり、珈琲をいれたりしていた高田夫人は、良人の顔もみずに、いそがしそうにたずねた。

「変て、なにが変なの?」

「出血なんだ。かなりの出血なんだよ」

「出血? また呑みすぎたせいでしょう?」

夫人はあわてない。毎度のことである。日本人の三分の一にそのケがあるというが、高田氏のキャリヤも、もう十数年になる。だが、高田氏はあわてて首をふった。

「いや。ちがうんだ。いつもみたいに真赤じゃないんだ。どすぐろいんだよ。それに、もう三日もつづいているんだよ」

「まあ、三日も? 毎朝?」

こんどは、夫人があわてて良人の顔を仰いだ。なるほど、貧血のせい、顔が蒼い。

「厭な方ね。なぜ黙ってらしたの? どこか痛むんじゃない?」

「いや。それがどうもはつきりしないんだよ。胃も腸も全然痛まない。気分は爽快だしね。なんだ下腹の辺がちょっと痛いような気がするが、それも気のせいかも知れん。だから、変なんだよ。さっぱりわからん」

「でも、どこかが悪いから、出血するのよ。それでも、

三日もとまらないなんて。ねえ、あなた。きょうは会社をお休みにして、すぐお医者さんに診てもらったら?」

「いや。きょうは駄目だよ。係長以上の幹部会議があるんだ。休めんよ」

「だって、からだにはかえられないわよ」

「いや。大丈夫だ。からだの調子はふだんと変らんし、まあ、きゅうにどうこうってこともないだろう。週末には少し暇ができるから、そのとき病院へでもいくさ。心配しなくてもいいよ。ともかく、きょうは出勤するからね」

いつのまにやら主客転倒し、案じ顔の夫人を、当人の高田氏がなぐさめながら、そそくさと出勤していった。

だが、その後ろ姿には、いつになく元気がないように、夫人の目には映じ、夫人はいつそう不安になってきた。

子供と良人を見送って、独りになると、夫人の不安はさらに募っていくばかりだった。

(出血なんて、ただごとじゃないわ!)

だが、独りでアレコレ憶測してもはじまらない。ちょうど従兄弟の一人が、東尻池で産婦人科医を開業していた。お産の先生じゃ頼りないけれども、贅沢を言っている場合ではない。夫人はさっそく従兄弟に電話して、良人の容態を話してみた。すると、従兄弟の返答も夫人を安堵させる態のものではなかった。

「そりゃ放つといはいいかな。電話だけじゃ責任のあることは言えんが、まず一般的に考えられるのは、胃潰瘍か、十二指腸潰瘍、腸結核、それに、もしかしたら

「もしかしたら? なに? なになの?」

「いや。こりゃ、ほとんどありえないことだがね、いちおう、まあ、ガンということもね」

「まあ! ガン!」

文字どおり、ガンと、脳天を一撃されたようなショツクを、夫人はあびた。

「いやいや。あわてちゃいかんよ。こりゃ、あくまでも可能性として考えられるだけなんだ。まずその心配はないと思うし、むろん、本人にも言わんほうがいい。ともかく、精密検査をうけて、原因をはっきりつかむことだな。これだけは早いほうがいいよ」

そんな忠告も、しかし、もうろくに耳にはいらぬほど夫人はうちのめされていた。受話器をおくと、そのままへたへたと尻もちをついてしまった。

(ガン! ああ。あの人がガン!)

マスコミのPRに弱い多くの日本人と同様に、夫人もまた、流行のガン・ノイローゼに罹患していたのだらうか。

従兄弟は、はじめガンかも知れないと言っておきながら、あわてて打ち消そうとした。

そして、本人にも言っていないと言っていた。あれが臭い。もしかしたら、妻の自分にもうっかり口をすべらせたことを、いまごろ後悔しているのではないか?



(そうだわ。そうにちがいないんだわ。やっぱり、あの人はガンにかかっているんだわ)

いつのまにやら、夫人は、自分で自分にそう思いこませてしまっていた。

(ああ。どうしよう? どうしよう?)

夫人のそんな歎きや悲しみもつゆ気づかず、その日、高田氏はふだんと変らず、気嫌よく帰宅してきた。いやいつものように三宮の裏あたりにも脱線せず、定刻の七時にちゃんと帰ってきたところをみると、やはり、出血が気になっていたのか? それとも、もう好きなお酒も呑みたくないほど、からだの調子がおかしくなっていたのだろうか?

しかし、気づかれてはならない、と、夫人は思う。どんなことがあっても、ガンのガの字も、口にしてはならない。いまの夫人にとって最大の急務は、あくまでもなに気なさそうに、ふだんの夫人らしくふるまうことだ。「おかえんなさい。どうでした? からだの調子? お仕事して、疲れなかった?」

「うむ。全然。出血したのがうそみたいだ」

「そう。そりゃよかったわ。じゃ、出血もたいしたことないのかも知れないわ」

「おれもそう思うな。もうとまるだろう」

「じゃ、今夜は早く帰ってきていい子だから、一本つけましようか?」

夫人は、内心薄氷を踏む思いで、だが、表面はしごく呑気そうに装おって言ってみた。

だが、良人の返答は、夫人の予想を裏切り、これまた、夫人を内心どきりとさせた。

「そうだな。お言葉に甘えましょうか。ひさしぶりに一家団欒のたのしい夕食をとるのも、いいもんだからな」

「そうよ。坊やもよろこぶわ」

いそいそと台所へでていきながらも、夫人は、自分の面の頃から、みるみる血の気が失せていくのが、自分で

もはつきりとわかった。

(良人もなにかを気づいているんだわ。あんなしおらしいことを言うなんて、まるで仏さまになったみたい！ 妻子を心配させまいとして、ほんとうのことをかくしてゐるんだわ)

夫人の疑心暗鬼は、さらに、良人のこんな言葉で、絶望的なほど決定的になった。

「きょう、ちょっと思いだしてね、P病院の篠原君に電話してみたんだ。まア、いそぐこともないだろうが、土曜日が暇なら、いちどきてみないかと言うんだ。精密検査をしてくれるらしい。ママもいつてくれるね？」

(ああ！ 良人も、やっぱり、ガンだと気づいているんだわ。ああ！ どうしよう!?)

土曜日までの五日間、夫人にとっては、まるで針のむしろに坐らされているような、たえがたい時間の連続だった。いてもたってもいられない、とは、このことだった。

なろうことなら、いま即座にでも、良人をひっぱって病院へかけつけていきたい。だが、それが許されないのだ。ここで自分を取り乱しては、事態をいっそう悪化させるだけだ。もしかしたら、良人はなにも気づいてはいないかも知れぬのだ。寝ている子を起こすような真似だけはつしまねばならない。

じっさい、その後も、高田氏の様子はさっぱり変化をみせなかった。帰宅だけは定刻どおりだったが、夫人がすすめれば晩酌もたのしむし、酔うと、こちよさそうに、ぐっすり眠りこけてしまう。

だが、そんな屈託なさそうな良人の寝顔をながめてみると、夫人は、思わず眼頭があつくなってくるのだった。むかしから、良人は少々アワテモノで、そのくせ、呑気な人だった。それだけ、根は善良で、妻にもやさしい良人だったのだ。

(こんないい人が、なんの因果で、ガンなんかにかかり

死んでいかねばならないのか)

ああ！ 夫人はもう良人にむしやぶりついて、思いのまま、泣きじゃくりたかった。

良人は去年、ようやく希望の係長に昇進したばかりだいまここで、良人に死なれたら、幼い子をかかえて、自分はどうして暮していけばいいのだろうか？ ああ！ すべては、土曜日の診察にかかっていた。

P病院の篠原医師は、高田氏の大学時代の親友だったそんな関係から、篠原氏は、とくに親身に精密検査をしてくれた。まず、胃カメラをのみ、バリウムを飲んでレントゲン撮影をする。検査は、上半身から下半身へと綿密にすすんでいく。

待合室の片隅で固唾をのんで待ちかまえていた夫人のまえに、やがて、患者を連れた篠原氏が、首をひねりながらあらわれた。

「どうもわからんですな。胃には異状はない。きょうは十二指腸までの検査で、まア、はつきりしたことは、月曜日にわかります。そのとき、腸を全部調べてみましょう」

「先生。じゃ、出血のほうは？」

「いや。それがどうも見当もつかない。変ですな。ともかく、月曜日にきてください」

(ああ！ 専門医まで変だと言う。やっぱり、ガンなんだわ。先生もかくしていらっしやるんだわ。月曜日に、あたしだけ、そっと打ちあけてくださるんだろうか?)
まるで死刑の宣告を待つ被告みたいに、夫人はもう月曜日のくるのが空怖ろしかった。

だが、時間は冷酷だ。情容赦なく、月曜日は確実な速度でやってきた。

その日も、夫人は待合室の片隅で、なろうことなら、このまま消えてしまいたいような、せつない気持ちでうずくまっていた。身を切られるような、一寸刻みの時間が、一時間たち、二時間たちした。

＊神戸の催物ごあんない＊

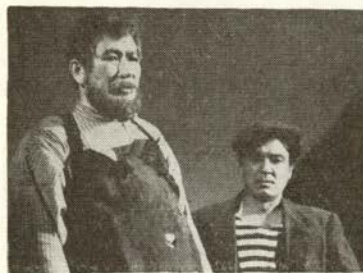
▷オーケストラとバイオリンによる名曲の宴
4月15日 PM6:30 主催/労音 会員券 演奏—大阪フィル 指揮—外山雄三

▷小原重徳とブルーコーツ・唄武井義明
4月16～19日 PM7:00 17日19日 PM6:30 18日 FM6:00 主催/労音 会員券 於国際会館

▷安川加寿子シヨパン名曲集
4月21日 PM6:30 主催/労音 会員券 於国際会館

▷ピーターとゴードン公演
4月24日 PM5:00 7:30 主催/新聞会館
入場料 ¥700 ¥500 於国際会館

▷劇団民芸・開かれた処女地
4月26日～28日 PM6:15 主催/労演 会員券 演出/宇野重吉 出演/清水将夫他 於国際会館



写真は「開かれた処女地」の芦田伸介と鈴木瑞穂
▷劇団雲・ロミオとジュリエット
4月30日 PM6:00 主催:新聞会館 入場料
A=¥1000 B=¥700 C=¥400 D=¥300
於国際会館

▷アメリカン・ホリデー・オン・アイス
5月1日～10日 平日PM6:00 土日祭PM2:00 6:30 主催/神戸新聞社 デイリースポーツ社 入場料 前売 S=¥800 A=¥500 B=¥300 当日券 S=¥1000 A=¥600 B=¥400 AB席は学生券有 於王子体育館特設リンク

▷南蛮美術展
4月3日～5月25日 AM9:00～PM4:30
月曜休館 於市立美術館

ふいに、悪夢を破られたように、患者を連れだした篠原氏が、夫人のまえに立っていた。土曜日とは違って変り、篠原氏は、なんだか吹きだしたいのをやっとなんか、これがまた、たいそうバツの悪そうな顔なのだ。

「セ、センセイ。ど、どうでしたの？」

「いや。どうもこうもない。やっとなんか犯人がみつかりましたよ」

「!?」

「犯人は、2センチあまりの竹ぐし。こいつが、直腸の下の方に突き刺さってたんです」

「じゃ、主人は、ガ、ガンなんかでは？」

「とんでもない。そんなご立派な病気じゃありません。どうもおかしいんで、高田君にきいてみたら、やっとなんか、思ひだした——」

「それがね、ママ。このあいだ、三の宮の呑み屋で、やきどりを食ったんだよ。酔っぱらってたせいでだろうね、ついその、串ごと」

「いやいや。高田君のソソッカしいのは、学生時代から有名ですからね。それにしても、竹ぐしのほうもソソッカしいやつだ。喉にも胃にもひっかからないで、スルスルと直腸まで直行して、やっとなんか、ひっかかった。ときど

き、こういう患者がとびこんでくる」

「まあ! そうでしたの!」

夫人は、もういっぺん、へたへたとその場に尻もちをつきたくなる思いだった。

「まあ、しかし、よかったですよ。高田君もソソッカしいのは結構だが、あんまり奥さんを心配させんほうがいいぞ。見てみる。患者の君より、奥さんのほうが、よっぽど着い顔をしていらっしやる」

「いや。まったく申しわけない」

「ぼくにやまることがないよ。さあ、もう安心だからおひきとりください」

篠原氏に見送られ、夫妻は、晴れ晴れとした面持ちでP病院の門をでていった。

「ママ。心配かけて、ごめんよ」

「知らない。あたしまで、篠原先生に恥をかいましてたわ。竹串をのみこむなんて!」

口をとがらせて言いながらも、夫人の両の目には、うっすらと涙がにじみでていた。その目に、ひやりとするものが感じられる。この一週間、すっかり忘れていた、すがすがしい春のそよ風のようなであった。

〈この項終り〉

☆ 私は神戸っ子なんですが、あまり神戸の街はくわしくありません。なまなま、入学試験におれてゆつくり街を歩くことは少ないけれども、通学電車の中から神戸はきれいな所だなと感心するばかり。でも、この間本郷さんでちよつと疲れた様子の神戸っ子、を手にし、神戸のふん開氣を实によく伝えているのには感心します。中でも、「今日の朝は風がひびひしと身にしむ、單調な受検勉強の日々を新たな希望で満ちた心で迎えるからです。」(神戸っ子)と云ふこと。 (愛田区 和泉加奈子)

神山若宮宮松福深畑原野西中直永玉田田
戸口杉崎地崎井富水 口沢山西木井井中中
年
会泰 辰襄辰高芳惣 専忠幸弥 太達 健寛
議所弘 禁雄二雄男美吉郎郎郎勝郎十操郎次

[illegible]

★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとけになりたい方は、編集室あてにお申込みになれば、さっそくお送りいたします。

6カ月分 六五〇円
1年分 一三〇〇円(送料共)

★月刊神戸っ子に紹介されている、神戸の銘店には、お客さまへのサービスとして月刊神戸っ子がおかれています。

★ 月刊神戸っ子をお買い求めの時には左の本屋さんでどうぞ。

大丸 書籍部	神戸 大丸五階
漢口堂三宮店	京町 筋街
流泉書房	センタ― 角

★ 神戸百貨店の事務局も月刊神戸っ子編集室内にあります。

日	文	第	海	甲	宝	小	★	つ
洋	東	一	文	南	盛	原	★	子
堂	書	書	文	堂	文	光	神	集
	房	元	館	國	館	文	戸	室
大	丸	町	元	鉄	阪	堂	百	に
陸	前	通	町	本	御		貨	あ
		1	3	山	影		物	り
		丁	目	北	南		販	ま
		目	目	口	都		口	す。
					市		北	
					野		口	
					洲		通	
					本		5	
					郷		階	
					土			
					曜			
					日			
					月			
					2			
					8			
					1			
					領			
					値			
					100			
					円			

TEL ☎ 8781 領値100円

☆ 2月号の本誌企画の「神戸酒徒 奮付」は依然として話のタネ。本誌を機に神戸の花どころで、一年に一回くらいいわれて企画をやつてはいるが、同じくいわれて企画をすすめていく「神戸の酒名」は日本一の酒どころではないが、同じやなら神戸名物「平の会割」はどうかと天下泰平の企画が飛び出しているが

(小泉康夫)

☆ 4年間デザインを担当してもらつた橋本三氏に代つて、4月から女性デザイナー・中辻悦子さんに担当して下さいます。長らく協力くださつた橋本氏には深くお礼申し上げます。

☆ 4周年の記念日は春風。ビーンズの星台のきびしさに風邪をひく。夜の涼しくなるにつれ、外野をひく。夜頻りにあるのかも知れないと名前のデザイン屋の想を思い出しました。(小泉康夫著)

☆ コーンスの紹介をするのに、あちこち聞き廻り、神戸も案外と入り込んでいて広いんだと、しんぽろどいては、神戸を知り尽くすにはあと何年住めばいいか(金井淳子)

中西彌太郎が、吸煙した人件で近く渡されたことになっていて。現在本誌スタッフも何んとか素晴らしい欧州旅行でありますようにと商榷を考つてゐるところである。



Hino

高性能の日野

世界最大の出力を誇る
高速ディーゼル・バス

兵庫日野ディーゼル株式会社

TEL ③4 7651 (大代表)

日野RA100-P型高速バス

コンテッサ・ルノーのご用命は
神戸日野モーターへ
TEL ③4 5771 (代表)



港の見える
レストラン

コラル キタノ
Tel (23) 2251-3



イタリア料理

イタリア

生田新道 TEL (33) 0376

酒徒交遊録

陳 舜 臣 作家

酒は一種の『甘え』だから、年長の人とのものがよい。たとえば頭のうすくなった新谷秀雄氏と白髪津高和一氏の御両人のあいだにはさまって、むかいに年配のママさんがいるといった図がーばん理想的である。

兄貴感のする朝日の鈴木二郎氏学校の先輩である読売の藤野克己氏。そのほか同世代の貝原六一、中西勝、赤尾兜子、竹田洋太郎といったお腹の出てきた連中が、酒友としては年代の最低限度であろう。ただし、女性の場合は、この限度を大巾にひきさげてもよい。

本誌の神戸酒徒番附で張出大関に推されたか、雑誌『酒』の文壇酒徒番附では私は前頭である。番附編成の裏話をきくと、佐々木久子さん（『酒』編集長）がそばから、「陳さんのはいいお酒だ」とさかんに雑音を入れてくれたのでやっと前頭になれたようだ。

女性の応援で前頭になるほどだから、当然女性の酒友も多いが、いろいろとさしさわりのあるムキがあると思うので、公表はさしひかえる。



神戸12カ月(4月)

諏訪山からの

展望

岡部伊都子

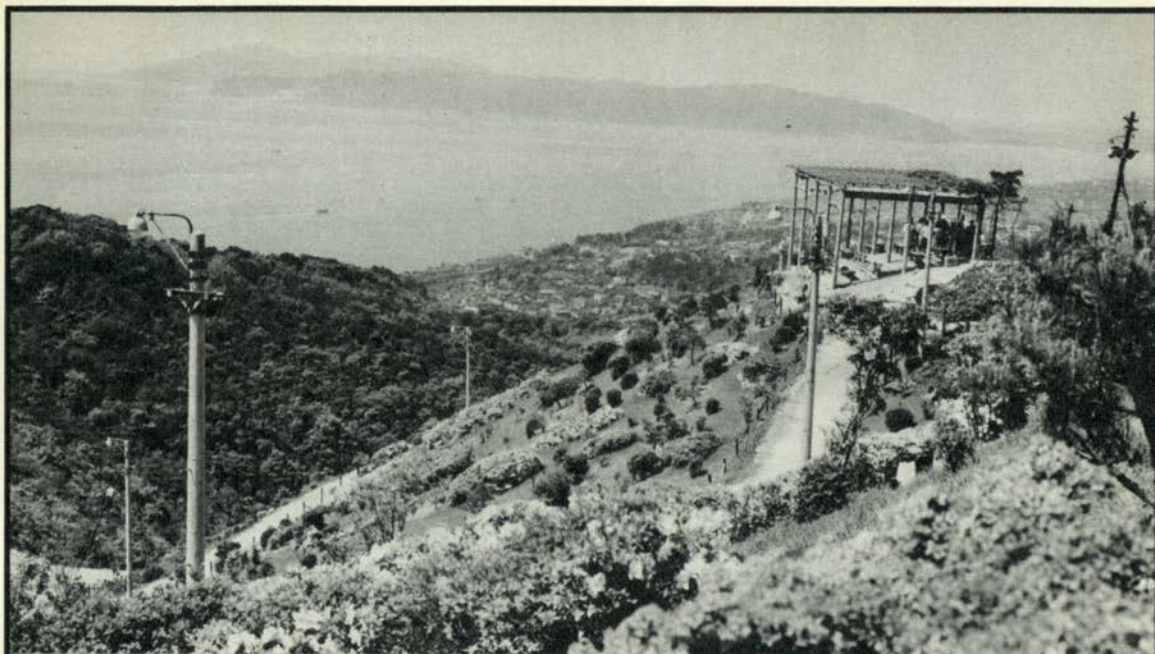
さくらが、こらえ切れなくなっていっせいに花咲く、ほんのすこし前から、地上は急に甘くけむる。うすい春色が刷毛でひいたように、天地の間にみなぎるのは、人ごころをせつなくときめかせて、罪ふかい。

諏訪山の展望台にはじめてのぼったのは、神戸に住みついた年の、このような春の夕方であった。あたりには、数組の若い人びとが、ベンチに腰かけて話合ったり、散歩したりしていた。神戸の港を、ゆつくりと眺めて、私は深い感慨をもった。まったく、人の運命なんて、想像しようもないものだ。まさか、神戸に住むようになるとは思っていなかった、まさか……このような季節の、このような時刻に、こんな親しい目で神戸港を眺めることになろうとは……まさか、まさか。

けれど、はた目からは水準以上に幸福な人妻としてみられていた自分を脱けて、自分の無かった自分を棄てて、やっと立ち得たこの展望台である。神戸らしい坂道をのぼりつめて、緑の山にはいろうとするこのあたりの美しさは、すべてを失った私の、はじめて私になった私の身に新鮮にしみこんできた。

やわらかな春のたそがれの紫の、ふかまりゆくにつれて、船の灯が輝き初める。街の一角にパッと電気のともしころもある。そのころポートタワーはなくネオンもわりにすくなかった。ただ、船や街に、人間の生活の灯が、ほっほっとまたたき、それが美しかった。私は年齢や過去を、簡単に忘れて、かぐわしい夜気に坐っていた。





*楽しい一日 つつじ咲く須磨浦山上

■ロープウェイ ■回転展望閣 ■観光リフト ■山上遊苑・ウォータースコープ



●山上遊苑“つつじ祭”● 4月18日→5月16日

- ▶電気製品などが当たるスピード抽せん券進呈 (期間中・観光リフト)
- ▶しあわせの花の種子進呈 (4月25日・観光リフト)
- ▶神戸市消防局音楽隊演奏会 (5月2日・山上遊苑広場)
- ▶写生画コンクールと写生大会 (期間中・4月29日・須磨浦山上一帯)
- ▶鯉のぼり風船進呈 (5月5日・観光リフト)
- ▶カーネーションの花進呈 (5月9日・須磨浦展望閣)
- ▶菓箱コンクールと伝書鳩放鳩会 (5月16日・山上遊苑広場)

- ロープウェイ営業時間 8時45分～20時45分 (5月30日まで)
- 展望閣入場券付・ロープウェイ・観光リフト連絡往復乗車券 兵庫～220円



山陽
電車

***宝飾品 Jewel Pearls**

- ①宝飾 御木本真珠店
International House
Mikimoto Pearls
②宝飾 田崎真珠店
Tasaki Pearls
③宝飾 北村真珠店
Kitamura Pearls
④宝飾 タジマ Jewel
Tajima Jewel
⑤時計と宝石 美田時計店
Mita Watch Shop
⑥宝飾 神戸宝飾
Kobe Jewel

***紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop**

- ⑦紳士服 柴田音吉洋服店
Tailor Sibata
⑧ネクタイ 元町バザール
Motomachi Bazaar
⑨紳士服 三恵洋服店
Tailor Mituei
⑩男子洋品 神戸屋
Kobe-ya Men's Shop
⑪男子洋品 フナキヤ
Funakiya
⑫紳士服 十字屋洋服店
Tailor Jujiya
⑬洋品雑貨 サノヘ
Sanohe
⑭ワイシャツ 神戸シャツ
Kobe Shirt
⑮紳士服 洋服の粹渡辺
Watanabe
⑯衣生活品 ニッケショールーム
Nikke Showroom
⑰紳士服 神戸テーラー
Kobe Tailor
⑱男の服地 Mac Men's Shop
⑲紳士服 シマキ洋服店
Tailor Shimaki
⑳紳士シャツ 大和屋のシャツ
Yamatoya Shirt
㉑洋品雑貨 リリアン
Lilian Shop

***婦人洋装・洋品 Ladie's Shop**

- ㉒帽子 マキシ
Maxim
㉓服飾雑貨 エスターニュートン
Esther Newton
㉔洋品 スギヤ
Sugiya
㉕ハンドバッグ シラサ
Shirasa
㉖洋品 オカダ
Okada
㉗洋装 マスヤ
Masuya

- ㉘輸入服地 マルゼン
Maruzen
㉙繊維製品から 力ネボ
Kanebo Kobe Store
㉚婦人・紳士 セリザワ
Serizawa
㉛婦人服飾 マミ
Mami
㉜毛皮 うえだ毛皮店
Fur Ueda
㉝毛皮 ベニー毛皮店
Bennie Furrier (Furs)

***装身具・服飾品 Accessory Dress**

- ㉞ベッ甲 太田ベッ甲
Ota Co. (Tortoise-shell ware)
㉟ハンドバッグ イクシマヤ
Ikushimaya
㊱アクセサリー 芸夢
Geimu
㊲婦人・紳士靴 クロス靴店
Cross Shoes
㊳婦人・紳士靴 吉岡靴舗
Yoshioka Shoes

***和装 Kimono, Geta**

- ㊴呉服 ちゃんがり屋
Chingaray
㊵呉服 みよしや
Miyosiya
㊶履物 まる喜
Maruki
㊷履物 丸福履物店
Marufuku
㊸衣・装 中川衣装店
Nakagawa
㊹衣・装 つるや衣装店
Tsuruya

***美容 Beauty Shop**

- ㊺美容 美容室あきら
Akira Beauty Shop
㊻美容 マキシ美容室
Maxine Beauty Shop
㊼コンタクト レンズ
International Contactlens Laboratory

***美術・工芸品 Art**

- ㊽美術 元町画廊・若木屋
Motomachi Gallery
㊾画材・顔料 末積製額
Suezumi
㊿工芸 磯川工芸店
Isokawa
美術陶磁器 淡洲堂
Tanshudo
新古典美術 播新
Harishin

***家具・家庭・文化用品 Furniture Family**

- ㊿家具 永田良介商店
Nagata Ryoosuke Shop
㊿運動用品 ヤノスポーツ
Yano Sports
㊿家庭用品 刃物金物菊秀
Kikuhide Co., Ltd.
㊿玩具 カメヤ
Kameya Toy Store
㊿メガネ 神戸眼鏡院
The Kobe Optical Co., Ltd.
㊿カメラ コヤマカメラ
Koyama Camera Shop
㊿儀式用品 富田屋
Tomitaya
㊿カバン 大上鞆店
Oue Trunk Co.
㊿カバン 高橋鞆本店
Takahashi
㊿電器製品 元町電機
Motomachi Electric Co., Ltd.
㊿薬品 三星堂薬局
Sanseido Pharmacy

***菓子・喫茶 Cake Tea-room**

- ㊿洋菓子 風月堂
Fugetsudo
㊿瓦煎餅 亀井堂本家
Kameido Honke
㊿菓子・菓子 雁治郎飴本舗
Ganjiroame-Honpo
㊿菓子・菓子 寿本舗
Kotobuki-Honpo
㊿洋菓子 ドンク
Donq
㊿チョコレート モロゾフ
Morozoff
㊿洋菓子 ユーハイム
Juchheim's
㊿洋菓子 ヒロタ
Hirota Confectionery
㊿洋菓子 ユーハイムコンフェクト
Yuhaimu Confect
㊿和菓子 二つ茶屋
Futatsuchaya
㊿菓子 本高砂屋
Hon-Takasagoya
㊿カステラ 長崎堂本店
Nagasakido
㊿瓦煎餅 亀井堂総本店
Kameido Sohonten
㊿瓦煎餅 河南堂
Kanando
㊿チョコレート コスモポリタン
Cosmopolitan
㊿瓦煎餅 菊水総本店
Kikusui Sohonten

***和洋料理 Eating House**

- ㊿ステーキ キングス・アームス
King's Arms Tavern
㊿とんかつ もん
Mon
㊿和・日本料理 竹葉亭
Chikuyotei
㊿天婦羅 お可川
Okagawa
㊿ふぐ料理 一富士
Ichifuji
㊿寿司 本成駒家
Hon-Narikomaya
㊿とんかつ 武蔵
Musasi
㊿スペイン料理 カルメン
Carmen
㊿欧風料理 ハナワグリル
Hanawa Grill
㊿ビヤ・ホール ニュー・トーキョー
New Tokyo
㊿イタリア料理 イタリアリ
Italia Ristorante
㊿軽料理 蛸の壺
Takonotsubo
㊿レストラン コラルキタノ
Coral Kitano
㊿天ぷら・寿司 栄弥
Higashi Sakaeya
㊿寿司 又平
Matahei
㊿神戸肉 大井肉店
Ooi Beef Shop
㊿クラブ・料亭 Night Club
㊿料亭 松乃家
Matsu no ya
㊿ナイトクラブ 北野クラブ
The Kitano Club
㊿クラブ くらぶ花くま
Club Hanakuma
㊿ホテル Hotel
㊿ホテル 神戸オリエンタルホテル
Oriental Hotel
㊿ホテル 六甲オリエンタルホテル
Hotel Rokko Oriental
㊿ホテル オリエンタルホテル 舞子ヴィラ
Oriental Maiko Villa
㊿観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣
Kosenkaku
㊿商社 Trading House
㊿ビール 朝日麦酒 K.K.
Asahi Beer
㊿電化製品 ナショナル電化センター
National Electric Center
㊿銀行 神戸銀行
Bank of Kobe



神戸百貨会

Kobe High Class Shop Group

- ①一富士
- ②コナミ
- ③北野
- ④六甲
- ⑤三ツ
- ⑥有馬
- ⑦有馬
- ⑧有馬
- ⑨有馬
- ⑩有馬



■すまいる預金

■ホームプラン預金

みんなでスタート

◎神戸銀行

■百店会でのお買物は神戸銀行のホーム・チェックをご利用ください。

神戸っ子

昭和四十年一月二十日

発行

昭和四十年四月五日

発行

毎月

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

発行

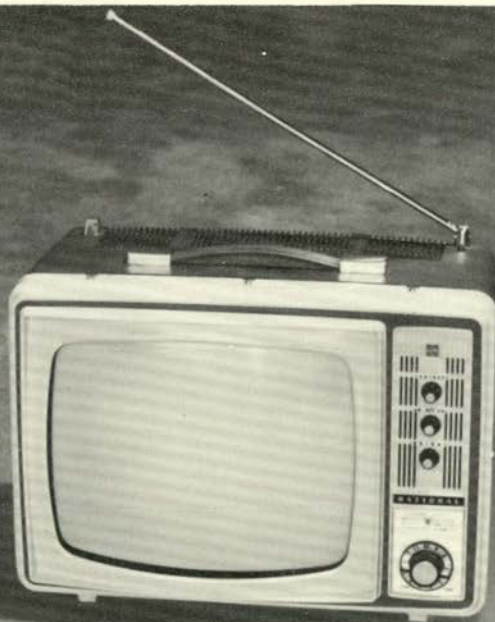
発行

発行

発行

発行

〈明るく広い画面〉を
手軽に移動



2台目のテレビにピッタリです
——12形で この軽さ！
——個人用にも ご家族用にも
——自慢の超高感度！
——自動調整の人工頭脳つき



新発売〈20A〉

現金正価 45,800円 月賦定価(12回) 48,600円

ガショナルテレビ
ポータブル12